

## 策定の趣旨

第1章

- 国（総務省）は、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」策定を要請
- これまでの経営戦略の計画期間（平成28年度～令和7年度）が終了するため、新たに策定するもの
- 県政運営の基本指針である「山梨県総合計画」の部門計画

## 経営理念・経営方針

第1章

- 経営理念  
・常に企業の経済性を発揮し、公共の福祉を増進する
- 経営方針  
・各事業が安定的に経営できるよう、独立採算制の原則に基づき、徹底した効率化・経営健全化を図る

### 計画の位置づけ

第1章

- サービスの提供を安定的に継続することが可能となる中長期的な経営の基本計画
- 山梨県企業局経営戦略（平成28年度～令和7年度）を継承

### 計画期間

第1章

- 令和8年度～令和17年度

### 企業局を取り巻く社会経済情勢

第2章

- 人口減少と人口構造の進行
- 世界的な気候変動と自然災害
- 電力システム改革への進展
- (新)従来成功例が成り立たない複雑で不確実な時代の到来
- (新)次世代エネルギーの推進
- (新)デジタル技術の急速な進展

### 「人財」マネジメント

第4章

- 採用の強化
- 定着率の向上
- 人材育成の充実、キャリア形成支援
- チーム力の強化

### 経営戦略の推進

第5章

- PDCAサイクルによる推進
- 3～5年ごとの見直し

### 前戦略事業評価 (H28～R7)

### 事業の現状と課題

第2章  
第3章

### アクションプラン

第3章

## 電気事業

- 安定的な電力供給の実施  
10年間の供給電力量45億4千万kWh（見込み）
- 電力システム改革に的確に対応  
売電入札の実施、容量市場への参入
- 発電施設・設備の計画的整備と機能強化の実施
- 再生可能エネルギーの安定的な活用の促進  
P2Gシステムの実証研究の推進
- 小水力発電所の建設  
建設5箇所、建設着手1箇所
- 新規水力発電所の開発の推進  
保川発電所建設中
- 利益を確保する中で、一般会計へ繰り出し

- 事業の現状  
・28の発電所が10年間で45億4千万kWhの電力を供給（見込み）し脱炭素に貢献
- 課題  
・耐用年数を超えた施設の適切なメンテナンス  
・未利用の位置エネルギーの活用  
・水力発電の価値の更なる具現化  
・マンパワーの確保

- 取組方針  
・耐用年数を超えた施設の適切なメンテナンス  
→(新)主要発電所の大規模改修  
(新)効率的な水車への更新  
・未利用の位置エネルギーの活用  
→(新)水の効率的利用によるダム運用の高度化  
(新)新規発電所（保川発電所）の運転開始  
・水力発電の価値の更なる具現化  
→(新)価値の可視化  
(新)入札の工夫（小売電気事業者のニーズ（調達量、契約年数）に応じた入札）  
・マンパワーの確保  
→第5章「人財」マネジメントに取り組みを記載

投資・財政計画 → 主力発電所のリプレースなど必要な設備改良を企業債を活用し、計画的に実施

## 温泉事業

- 施設・設備の整備  
受湯槽、貯湯槽の更新、場内整備工事等の実施
- 安全・安心な温泉の供給  
源泉・配湯施設の衛生管理対策を実施

- 事業の現状  
・宿泊施設など計236件に計68万㎡を供給（R7見込み）
- 課題  
・持続可能な温泉利用

- 取組方針  
・持続可能な温泉利用  
→耐用年数を超えた施設、設備の適切なメンテナンス（計画的な配湯管の敷設替え）  
(新)適正な料金水準の検証

投資・財政計画 → 資本的収支の収支均衡を図りながら、事業継続に必要な設備改良を行う

## 地域振興事業

- 収益的収支の黒字化  
新しい指定管理者から、安定的に納入金を確保し事業運営
- 施設・設備の計画的な更新、改修の実施  
指定管理者と協議の上、優先度を勘案し、ゴルフカート道、LED照明更新など実施

- 事業の現状  
・指定管理者のもと、総合スポーツ施設丘の公園を運営。15万人が利用（R7見込み）
- 課題  
・施設の利活用の更なる促進  
・新たな魅力創出・八ヶ岳南麓地域の振興  
・施設・設備の老朽化対策

- 取組方針  
・施設の利活用の更なる促進  
→(新)利用者数及び消費単価の増加  
・新たな魅力の創出・八ヶ岳南麓地域の振興  
→(新)清里駅前の活性化と連携し、無料開放施設の賑わい創出の取り組みを推進  
・施設、設備の老朽化対策  
→指定管理者と協議し、修繕計画に基づき、施設利用に支障が生じないよう実施

投資・財政計画 → 資本的収支の収支均衡を図りながら、事業継続に必要な設備改良を行う